

清流のほとり



ENCHO



令和6年12月2日(月)発行

園長 津田 将美

寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

手づくりの園外保育

今年度も5月の公開保育の時に、園の行事について保護者の方々にお話をさせていただきました。松田幼稚園の各行事は、子どもたちと教師の手づくりのものです。運動会でもそうであったように、担任は子どもたちの願いや思いを丁寧に聞きながら、交流させ、知恵を出し合い、仲間のことを大切にしながら新しいものを創り出していきます。その過程は、正に幼稚園教育の醍醐味です。

私は通りすがりにその雰囲気味わうだけのことが多いのですが、聞いているだけで心があたたまり、ほのぼのとしていく素敵な空間がたくさんあります。保護者の方々も、それを十分に理解してくださって、「手づくりの過程」を想像しながら認めてくださる言葉をたくさんいただけることが、園の大きなエネルギーになっています。

先日の園外保育には残念ながら参加できなかったのですが、担任のふりかえりの中に、嬉しい言葉がたくさんあったので、そのいくつかを紹介します。

自分たちで決めたこと

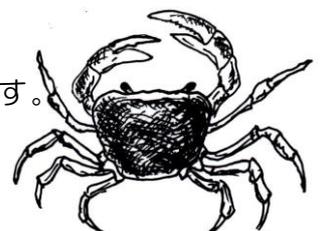
「自分たちで決めた目的だったことで、最後まで歩き切る姿があった。自分で決めたことで、がんばろうとする力になった…」
 ～「自分たちで決める」は、手づくりの行事の大前提です。そのことが子どもたちの力になっていることを子どもたち自身が証明してくれました。主体性や自己肯定感、前向きに創造的に生きる力が、このような過程を通して育っていきます。

いい寄り道

「『途中で見つけたものがあったら、みんなに知らせてね』と伝えると、どんどんみつかったことを言葉にする姿が見られた。虫や電車、川や景色を見たり、落ち葉を投げたり、坂道を登ったり…」
 ～速足で通り過ぎてしまってはわからない自然の息吹や命の輝き、社会の営みなどが身の回りにはたくさんあります。打ち合わせで職員が「いい寄り道」と言っていて、なるほどな…と思いました。園外保育では、目的地だけでなく、その道中を通して、やさしさやたくましさを育てています。

逃がすことを楽しむ

「サワガニ探しでは、夢中で探し、最後はリリースし、カニがどこに向かって行くか観察した。土の中、石の下、木に登るカニなど、予想外に様々な場所に行くカニの動きに驚き、新しい発見となったようだ…」
 ～「命を大切にするためには、逃がしてあげることも大切」ということは、誰もがわかっていますが、逃がすことには別れのほろ苦さも伴います。しかし、それを逆に楽しみに変えることができるのだということを松田町自然館の方に教えていただきました。



今、年長さんでは保育参観発表会に向けた手づくりの作業が行われています。子どもたち一人ひとりの表情が輝いていて、素敵な時間となっています。12月の発表会が、楽しみです。